かづの校　地域支援部報　No.３

プロペラ

令和８年１１月１９日発行
秋田県立比内支援学校かづの校
地域支援部

共に育ち　共に学ぶ　交流及び共同学習の取り組み

本校では秋田県教育庁特別支援教育課より「令和８年度　心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解推進事業」の指定を受け、花輪小学校と連携し交流及び共同学習を行っています。交流の前には、かづの校や小学部の児童を紹介する心のバリアフリー授業も行いました。

今回のお便りでは、交流の様子や「心のバリアフリー授業」「心のバリアフリー展」について紹介します。

アップルロードレース

かづの校からアルパスまでの往復コースを走りました。お互いに応援し合いながら、完走することができました。



お互いに励ましながら完走

完走をめざして、よーいドン！



ボッチャ交流

「ボッチャ」をとおして、一緒に活動しながら交流を深めることができました。投げた玉がジャックボールに近づくと、歓声が上がっていました。



「にじ」の曲にあわせてみんなで手話



１２月１８日（金）に花輪小学校の１、２、３年生向けにリンゴレンジャー公演を行う予定です。



比内支援学校かづの校では、共生社会の形成や地域の障害理解教育の推進を目的に、地域の幼稚園・保育園・認定こども園、小・中学校、高等学校等で交流及び共同学習の事前学習や各校のニーズに応じて障害理解に関する「心のバリアフリー授業」を実施しています。

「心のバリアフリー授業」について ＊国立特別支援教育総合研究所「特別支援教育リーフ Vol.4 多様性の理解につながる『障害理解』」より一部抜粋

障害理解教育を通して子供たちが、自分と他者との「ちがい」を理解し、その「ちがい」を受け入れ、お互いの「よさ」に気付き、それぞれの強みを生かして共に助け合う態度・行動が取れるようになることを目指します。



障害理解に関する「心のバリアフリー授業」　交流及び共同学習他

小学部の友達からのメッセージ動画



かづの校には何人の小学生がいますか？



かづの校の職員が小学校へ行き、かづの校やボッチャのルールについて紹介をしました。

ボッチャはどんなスポーツかな？





令和８年度　心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解推進事業
「心のバリアフリー展」について（お知らせ）

1 事業の概要について

○ **主催**：秋田県教育委員会　特別支援教育課

○ **目的**：小学校と特別支援学校の交流及び共同学習に関連付けた障害理解授業やＰＴＡ研修会等の実施により、地域全体の小学生やその保護者、地域住民の障害理解を推進する。



2 心のバリアフリー展実施の目的

・ 鹿角市立花輪小学校と比内支援学校かづの校の交流及び共同学習の取組をまとめた写真パネルや成果物を地域の公共施設や商業施設に展示し、地域住民の障害理解や特別支援学校の理解を推進する。



3 展示期間及び場所

場　所	期　間
コモッセ	11月２日（月）10:00 から 11月13日（金）15:30 まで
道の駅かづのあんとらあ（トイレ入り口手前）	11月16日（月）10:00 から 11月27日（金）15:30 まで
鹿角市立花輪小学校	11月28日（土）PTA 参観日　※花輪小学校保護者対象
鹿角市役所（正面入口右手奥のスペース）	12月１日（火）10:00 から 12月11日（金）15:30 まで
比内支援学校かづの校	２月５日（金）PTA 授業参観日

4 展示内容

・ 交流及び共同学習（鹿角市立花輪小学校と比内支援学校かづの校）の取組内容や写真をまとめた掲示物

・ 令和７年度の鹿角市立花輪小学校３年生の児童が総合的な学習の時間（テーマ：福祉）に作成した学習成果物（紙芝居、絵本、ポスター等）



特別支援学校 Q&A

Q 高等部の実習とは、どのようなことをするのですか。

＜実習について＞

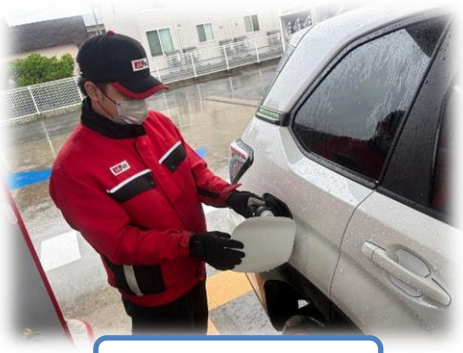
- 2～3週間、校内または事業所に出かけ、1日を通して働く経験を積む。
- 前期、後期にそれぞれ1回ずつ行う。3年生は臨時で行う場合がある。

＜実習のねらいと様子について＞





食肉加工作業



ＧＳでの給油作業



杉苗の作業

《学校見学・体験・特別支援学校体験研修等の申込み先》 **比内支援学校かづの校 副校長 加藤 宏和 まで電話で御連絡ください。**



秋田県立比内支援学校かづの校
〒018-5201 鹿角市花輪字案内2
TEL:(0186)22-0253 (0186)22-2631
FAX:(0186)30-1245
E-mail:kazuno-s@akita-pref.ed.jp
担当:副 校 長 加藤 宏和
地域支援部主任 能登谷 可子